

七よやま

No. 163
議会だより
12月定例会



夢と希望と友情と！

(関連記事P2.3.16)

特集「二十歳の集い」-----P2・3

議案PICK UP ----- P4~5

9人が一般質問 ----- P6~15

輝く人を紹介 町のキラッと☆ --- P16

議会のインターネット中継が始まりました

- ・定例会(初日)
 - ・一般質問
 - ・議案質疑(3月のみ)
 - ・定例会(最終日)
- ご覧いただけます

豊山町議会
【公式】
チャンネル



町のホームページから
会議録がご覧いただけます

<https://www.town.toyoyama.lg.jp/>





二十歳の集い



華やかな門出 感謝を胸に

成人式から「二十歳の集い」に変更になりました



※写真撮影時のみマスクを外していただきました

二十歳の集い

議案 PICKUP

一般質問



二十歳の集い

議案 PICKUP

一般質問

議案 PICK UP

定例会で審議された議案や事業をピックアップして、その中身や質疑を詳しく説明します。

12月
定例会の
あらまし

令和4年第4回定例会が12月5日から16日まで開かれました。人権擁護委員の推薦、地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定、議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正、令和4年度一般会計、特別会計補正予算の14議案が上程され、いずれも原案通り承認可決されました。また、議員発議による意見書が採択されました。

議案一覧

令和4年第4回臨時会(10月)

| 番号 | 議案 | 審議結果 |
|--------|--------------------|--------|
| 議案第60号 | 令和4年度一般会計補正予算(第6号) | 全員賛成可決 |

令和4年第4回定例会(12月)

| 番号 | 議案 | 審議結果 |
|--------|----------------------------------------|--------|
| 議案第61号 | 人権擁護委員候補者(西脇和子)の推薦 | 全員賛成同意 |
| 議案第62号 | 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 | 全員賛成可決 |
| 議案第63号 | 議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正 | 全員賛成可決 |
| 議案第64号 | 特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正 | 全員賛成可決 |
| 議案第65号 | 職員の給与に関する条例の一部改正 | 全員賛成可決 |
| 議案第66号 | 母子通園施設の設置及び管理に関する条例の一部改正 | 全員賛成可決 |
| 議案第67号 | 農業委員会委員の定数を定める条例の一部改正 | 全員賛成可決 |
| 議案第68号 | 道路占用料条例の一部改正 | 全員賛成可決 |
| 議案第69号 | 都市公園条例の一部改正 | 全員賛成可決 |
| 議案第70号 | 令和4年度一般会計補正予算(第7号) | 全員賛成可決 |
| 議案第71号 | 令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号) | 全員賛成可決 |
| 議案第72号 | 令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) | 全員賛成可決 |
| 議案第73号 | 令和4年度介護保険特別会計補正予算(第2号) | 全員賛成可決 |
| 議案第74号 | 令和4年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) | 全員賛成可決 |
| 発議第2号 | 带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書の提出 | 全員賛成採択 |

議長は議決には加わりません 太字は以下に掲載

議案 第62号

職員の定年延長 (60歳→65歳)

- 令和5年度から定年延長制度を導入
- 2年に1歳ずつ段階的に引上げ
- 役職定年(60歳)を実施

◎ 定年延長が実施されても、新規採用を継続的に進めていくことが必要では。

▲ 職員の年齢構成や退職者の見通しを踏まえ、一定の職員を継続的に採用。

| 令和年度 定年年齢 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| | 60歳 | 61歳 | 62歳 | 63歳 | 64歳 | 65歳 | | | | | | |
| 36年度生まれ | 退職 | 再任用 | | | | | | | | | | |
| 37年度生まれ | | 退職 | 再任用 | | | | | | | | | |
| 38年度生まれ | | | 退職 | 再任用 | | | | | | | | |
| 39年度生まれ | | | | 退職 | 再任用 | | | | | | | |
| 40年度生まれ | | | | | 退職 | 再任用 | | | | | | |
| 41年度生まれ | | | | | | 退職 | 再任用 | | | | | |
| 42年度生まれ | | | | | | | 退職 | 再任用 | | | | |

公務員の定年延長制度早見表

農業委員会委員の定数改正

- 農業委員会委員の定数を16人から7人へ
- 次回改選時から実施

Q 農業委員会委員の定数を7人とした理由は。

A 神明・金剛地区の耕地面積が大幅に減少すること、県内市町村の委員定数や耕地面積を踏まえ、7人が適正な人数と判断。



過去5年間で6haの農地が減少
今後、さらに大幅な減少が…

令和4年度一般会計補正予算

出産・子育て応援交付金

1533万円



- 令和4年度中に妊娠により母子手帳を交付された方へ5万円を支給
- 令和4年度中に出産した子を養育する方に5万円を支給
- 令和4年4月以降に出産した方まで遡って支給

Q 対象者への交付方法は。

A 妊娠時には窓口で、出産後は保健師などの訪問において申請を受け付け、口座振り込みにて交付。

新型コロナウイルス感染症対策事業

8万円

- 抗原定性検査キット30人分購入

Q 検査キット購入の目的は。

A 新型コロナウイルスの濃厚接触者となった職員の自宅待機期間の短縮を図るため。



総合行政情報システムの運用事業

40万円



- DX施策推進のため、外部のICT監理アドバイザー1名の派遣を依頼

Q ICT監理アドバイザーの業務は。

A 現状のシステムの分析や問題点の洗い出し、導入予定システムの調査・分析などを行っていく。

一般質問
ラインナップ

あなたの想い、議会へ

一般質問とは、町が行っている事業や計画について議員が住民に代わって質問したり要望を伝えたり、今後の町のあり方について議論、提言することである。

12月12日(月)9人が質問に立った。
一問一答方式で、制限時間は答弁を含み1人60分。

議会だよりには、太字のみ掲載

| | | | |
|---|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1 | 山本亮介 | ●安心・安全な地域公共交通のための町としての対応について | P.7 |
| 2 | 作野桂子 | ●防災対策の推進を ○コロナ禍 児童生徒のケアを ●より正確な議事録を | P.8 |
| 3 | 岩村みゆき | ●ごみの減量やカラス対策について ●社会教育センター図書室の運用、サービスの拡充について | P.9 |
| 4 | 柴田賢一 | ●子ども応援課の描く未来は ●道路施設の適切な更新とは | P.10 |
| 5 | 岡島剛 | ●マイナンバーカードの普及促進について ●中学校制服見直しの進捗状況について | P.11 |
| 6 | 岡島政信 | ●福祉コミュニティ施設の浴室について ●子どもが抱える問題について | P.12 |
| 7 | 坂田芳郎 | ●防災拠点周辺の路面整備を要望する | P.13 |
| 8 | 大口司郎 | ●愛知県広域的防災拠点について | P.14 |
| 9 | 坪井孝仁 | ●地域の課題について ●防災拠点事業について（愛知県基幹的広域防災拠点、町の避難所を含む賑わい施設の整備） ○公共施設の整備について ○平和への取組について | P.15 |

◎全文記録（議事録）は、2月上旬に町ホームページに掲載しますのでご覧ください。



やまもとりょうすけ
山本亮介 議員
YAMAMOTO Ryosuke

Q. 事故について文書で 申し入れを

A. 調査結果公表後に 申し入れる

Q 去る8月22日、名古屋市長
北区の名古屋高速小牧線
豊山南出口付近にて、名古屋
市中区栄から県営名古屋空港
へ向かうあおい交通の空港直
行バスが分離帯に接触、横転
し炎上した事故が発生した。
この場をお借りして、亡くな
られた方のご冥福をお祈りす
るとともに、負傷された方へ
のお見舞いを申し上げます。

バス運行会社は乗客、運転
手の命に責任を持っていると
いう認識が必要である。しか
し、あおい交通は国の基準を
超える勤務をさせ、事故のリ
スクを高め、2人の尊い命が
失われる重大事故を起こし
た。「安心・安全」は地域公共
交通の前提であり、そのため
にリスクを排除していかなけ
ればならない。事故は防ぐこ
とができたのではないか。そ
う思えてならず、本当に残念
である。

今回のバス事故とあおい交
通の実態について、町はどの
ような所感を持っているか。

A 産業建設部長
8月の本件事故は2人の
尊い命が失われ、7人の負傷
者を出した重大な事故であ
り、町としても大きな衝撃を
もって受け止めている。この
場をお借りして、亡くなら
れた方のご冥福をお祈りする
とともに、負傷された方へのお
見舞いを申し上げます。

事故の原因などについては、
中部運輸局や警察が調査を進
めていると承知している。

人命を預かる公共交通機関
において、交通法令を遵守し、
安全運行を確保することは当
然の責務であることから、あ
おい交通株式会社には、改め
て安全を最優先とした運行の
徹底を強くお願いするところ
である。また、町としても法
令が遵守されていること、安
全な運行が確保されているこ
とについて、きちんと注視し
ていかなければならないと意
を新たにしているところである。

Q 事故が起きてから、あ
おい交通は町に対してどの

ような説明をしているのか、
町はあおい交通に対してどの
ような対応をしているのか。

A 産業建設部長
8月31日には、あおい交
通株式会社の社長が本町を訪
れ、事故に関する状況報告、
今後の安全運行に対する考
え、謝罪の言葉を述べられた。
本町からは、今回の事故の
再発防止に努めるとともに、
さらなる安全運行の徹底を申
し入れた。

9月には、町職員があおい
交通本社を訪問し、とよやま
タウンバス運転手の労務管理
の実施状況など、安心安全な
運行がしっかり行われている
ことを確認した。

また、11月に開催した公共
交通会議においても、あおい
交通株式会社の社長から事故
に関する謝罪と近況報告を受
けた。

Q あおい交通はとよやま
タウンバスも運行しており、
あおい交通の実態が改善され
なければ、町民にとって安心・

安全な地域公共交通は担保さ
れない。

町としても口頭ではなく文
書で「安心・安全な公共交通
を求める申し入れ」をすべき
ではないか。

A 産業建設部長
現在、中部運輸局や警察
など関係機関にて事実確認や
原因究明が進められている。
正式な調査結果が公表された
際には、町として改めて事故
原因の改善と安心安全なバス
運行の徹底を申し入れる。



安心・安全なバスの運行を最優先に

Q. テント泊訓練を実施しては



さくのけいこ
作野桂子 議員

SAKUNO Keiko

A. 検証を踏まえ、検討する

今回は、私が過去にした質問の進捗状況などを振り返りながら、関連する新たな問題点についても質問をする。

Q 令和元年9月「高齢者・妊産婦・乳幼児スペースをつくってはどうか」と質問をした。進捗状況はどうか。

企画調整部長

A 避難スペースの確保については、令和2年6月に災害時学校施設利用計画を作成し、校舎内に要配慮者などの居住エリアを設定した。今後は、避難スペースの割り当てなどをしていく。

Q 令和元年9月「車中・テント泊ができる場所はどうか」と質問をして「支援を念頭に置いて避難所運営体制を検討する」と答弁している。また「防災キャンプ実施時に車中・テント泊訓練をしてはどうか」と質問をした。進捗状況はどうか。

企画調整部長

災害時学校施設利用計画



テント泊には準備が必要

では、校庭を避難者用の駐車場エリアとしている。今後は、このエリアの活用を念頭に検討を進める予定である。

防災キャンプについては、まずは本格的な訓練を再開したうえで、その検証を踏まえ車中・テント泊訓練の実施時期などを検討していく。

Q 令和2年12月「耐震改修促進計画目標達成のため」に何を「検討された内容、現在の考えはどうか」。

産業建設部長

A 代理受領制度を導入するとともに、啓発活動を実施している。再度、他自治体の補助制度を研究し検討を進める。

二十歳の集い

議案 PICKUP

一般質問

Q. 機器で作成されたデータは

A. 定められている期間保存する

審議会を傍聴して、議事録を確認すると私が必要だと思っ内容が明記されていないこともある。附属機関の議事録は「議事録等の作成に関する指針」に基づき、全文筆記、要点筆記で作成されている。議事録とは「会議の内容、決定に至った過程や結論などを記録してまとめた文書のこと」に会議に参加していない人も含めて情報共有をはかるために作成されるものである。

他自治体を調査したところ「全文筆記を原則とする」「審議の経過が分かるように、発言内容を明確にして記録する」など、様々な方法で透明性を確保していることが分かった。

Q 令和5年に音声から文字データに変換する機器が

本格導入される予定である。この導入に合わせて、特に重要な事項を扱う審議会の議事録を全文筆記に変更する、または、要点筆記で公開し、全文筆記で記録を残しては。

総務部長

A 審議会によってどの程度まで詳細に記録する必要があるかは異なる。審議会などで選択できるようにしておくことが望ましいと考えている。

Q この機器で作成された文字データの取扱いは。

総務部長

A 機器に保存された文字データは文書管理規定に定められている期間保存するものと考えている。





い わ む ら
岩村みゆき 議員
IWAMURA Miyuki

Q. ごみ減量とカラス対策は

A. より一層の周知啓発を図る

Q 町においては、ごみ排出量減量への取り組みが実質二酸化炭素の排出量減量につながるものと思っている。現状のごみ減量への取り組みを聞く。

A 生活福祉部長

本町の一人一日当たりのごみ排出量は令和2年度時点で「620グラム」と県内では10番目に排出量が多く、リサイクル率も悪い状況である。この状況を踏まえ、資源分別の徹底や、水切りなどの生ごみの排出方法について、周知啓発を図っているところである。

令和4年度、ごみ減量につながる新たな取り組みとして役場庁舎内で「段ボールコンポスト」の実証実験を始めた。



家庭でもごみ減量を



また、食品ロス削減を図るため、フードドライブを環境フェスティバルで初めて実施した。

今後、食品ロスを含め、ごみ減量に向けた取り組みとともに周知啓発に努める。

Q 近年、カラスが多く見られるようになった。対策が必要では。

A 生活福祉部長

カラス対策については、広報に「生ごみを新聞や紙袋で覆って中身が見えないようにする」「防鳥ネットの設置」「生ごみを減量する」など、ごみの出し方の工夫を紹介している。

今後より一層の周知を図ってまいります。

Q. 図書消毒器の導入は

A. 改善が進めば検討する

Q 社会教育センター図書室では、返却後の図書は一冊一冊消毒を行っているが、利用者の目に見える形の安心安全という点で、図書消毒器を導入してはどうか。

A 教育委員会事務局長

現在、多くの利用者に安心安全に利用いただけるよう、返却本について一冊ずつ職員による消毒を実施している他、入口に手指消毒液の設置、カウンターや机などの消毒の実施、パーテーションの設置など、出来る限りの感染症防止対策を講じて運営している。紫外線照射による図書消毒器は、新型コロナウイルスに対し効果が確認される報告もあるが、照射による図書の劣化が指摘されている。

今後、図書消毒器の改善が進めば、改めて検討する。

Q ICTを使ったサービスの充実も求められる。ネットを使ったサービスの拡充を行った。内容を聞く。

A 教育委員会事務局長

令和3年2月から図書室にある8万6000冊の本をインターネットにより予約できるシステムに改めた。24時間いつでもインターネットを利用して予約することができる。

Q ラインを使ったサービスの内容を聞く。

A 教育委員会事務局長

毎月、「書窓」の案内、また、ボランティアグループによる「読み聞かせ」の案内など市民の皆さまが読書に親しむための機会の提供を発信している。

Q. 子ども応援課の描く未来は



しばたけんいち

柴田賢一 議員

SHIBATA Kenichi

A. 子育てが浸透するまちに

子ども応援課は子育て支援を拡充するために設置された。今後の取り組みについて問う。

Q

子ども応援課の設置から、どんなことに取り組み、どんな声が上がっているのか。

A 生活福祉部長

保育士を増員して相談体制を強化、子ども応援課前に「きこっとひろば」を設置、電子母子手帳などの子育てアプリや青山保育園の乳児クラスの開設などを実施してきた。これらの取り組みに保護者からは好評をいただいている。



安心して手続きができる「きこっとひろば」

Q

遊び場・交流の場の確保について、どのように考えているのか。

A 生活福祉部長

子ども議会での質問や町民の声に、ボール遊びができる場所の開設を求める声が多いことは承知している。スポーツ施設、公園、児童遊園、学校などニーズに沿った利用が可能かどうか検討していく。



校庭でボール遊びができれば…

Q

子ども応援課の描く未来は、どのようなものか。

A 生活福祉部長

豊山で生まれた子どもたちが、このまちで過ごし子どもを育てるサイクルが定着するまち「とよやまで子育て」が浸透する未来を目指し、町制50周年を機に子ども応援課が中心となって、その実現に向けて取り組んでいきたい。

Q. 道路施設の適切な更新とは

A. 優先度を定め効率的に

Q 舗装状態の点検は、どのように行っているのか。

A 産業建設部長

また、点検に基づいた更新の優先順位付けがあるのか。

A 産業建設部長

現在、適正な道路管理と維持管理コストの縮減を図るため、道路管理計画の策定を行っており、路面性状調査などで舗装の劣化状況を把握し更新の優先度を定めていく。



目立つ継ぎはぎ舗装

Q

橋梁の点検は、どのような頻度、体制で行うのか。また、その結果の記録は。

A 産業建設部長

県の外郭団体が行う技術支援業務を活用し5年に1回、他市町村一括で点検している。結果は町に提出され維持管理や改修計画に活かしている。

Q 側溝の点検方法は。また、更新の基準は。

A 産業建設部長

職員が現場に出かける際や住民からの通報に基づき現場確認を行う。道路管理計画に基づく舗装の更新時期に合わせ効率的な更新に努める。



ひび割れている側溝



おかじま つよし
岡島 剛 議員

OKAJIMA Tsuyoshi

Q. マイナンバーカードの活用は

A. 27の手続きをオンラインで

マイナンバーカードの交付率が、令和3年2月末時点で20.6%であったが、令和4年4月末で36.8%に伸びている。11月中には500件を超える交付があった。

Q 最新の交付率と、特設窓口を設けてからの申請数の変化は。

A 生活福祉部長
令和4年12月1日現在、47.7%である。

11月15日から、役場1階ロビーに特設窓口を開設した。申請件数は、10月は92件、11月は195件と2倍以上増加した。

Q 特設窓口に寄せられた、町民の方からの反応は。

A 生活福祉部長
「写真撮影や申請の手伝いをしてもらえるので助かる」

「他の用事で来たが、特設窓口があり、待ち時間も少なく申請できてよかった」との声をいただいている。



便利な特設申請窓口

Q マイナンバーカードによる行政サービスの拡大は。

A 企画調整部長
転出届・転入予約が出来る引越シワンストップサービスや、子育てや介護関係、被災者支援関係の27手続きについて令和4年度中にオンライン手続きを開始できるよう、準備を進めている。

併せて、オンライン申請の対象手続きの拡大やキャッシュレス決済のオンライン化などについて順次進めていく予定である。

今後、他の自治体の取り組み状況を見ながら、マイナンバーカードを活用した独自施策について、検討を進めるとともに、普及促進に取り組んでいく。

Q. 中学校制服見直しの進め方は

A. 令和5年5月頃に制服総選挙

昨今の地球温暖化や異常気象が日常化していること、多様性の面で社会の要請が急速に進んでいることを考えると、中学校制服の見直しは早急に対応しなければならない。

Q 児童・生徒に対してアンケートをしているが、どのような内容で実施したのか。

A 教育委員会事務局長
また、集計結果はどうか。

Q 児童・生徒に対してアンケートをしているが、どのような内容で実施したのか。

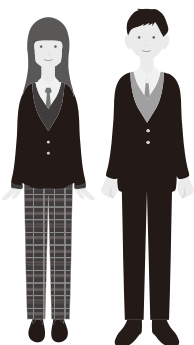
A 教育委員会事務局長
10月に小学4年から6年生、中学1年から3年生1051人、その保護者951人を対象に「制服は必要か」「見直しをするなら何を重視するか」などの項目について実施した。

詳しい結果は、12月開催の検討会議で報告するが、制服の必要性は児童生徒や保護者も含め大多数が必要と感じて

いる傾向にある。また児童生徒は、寒暖対応、機能性、デザイン性を重視し、保護者は、寒暖対応、経済性、清潔面を重視する結果となった。

Q 制服の見直しを、今後どのように進めるのか。

A 教育委員会事務局長
令和5年4月頃までにデザインを3案程度にまとめ、5月頃に、児童生徒、保護者の皆さまに投票してもらい「制服の総選挙」を実施する。新しい制服のデザインは夏頃までに決定し、お知らせする。



Q. 福祉コミュニティ施設の浴室は



おかじまさのぶ
岡島政信 議員

OKAJIMA Masanobu

A. 廃止の方向で検討する

| 令和3年度 児童館一日平均利用者数 | |
|----------------------|-------|
| 施設名 | 利用者数 |
| しいの木 | 58.5人 |
| さざんか | 62.1人 |
| ひまわり | 42.2人 |

A 生活福祉部長
左表の通りである。

Q 各施設の児童館の平均利用者数は。

| 施設名 | 設置 | 経過 |
|------|-------|-----|
| しいの木 | 平成11年 | 23年 |
| さざんか | 平成14年 | 20年 |
| ひまわり | 平成16年 | 18年 |

| | |
|---------|--------|
| 年間維持管理費 | 約410万円 |
| 再開費用 | 約210万円 |

A 生活福祉部長
左表の通りである。

Q 施設の浴室は設置後どれほど経過したか。また浴室再開や年間維持管理費用は。

福祉コミュニティ施設の利用者が少ない浴室について質問をする。



浴室の有効活用を

Q 福祉コミュニティ施設の浴室は、しいの木デイサービスセンターの入浴サービスを除き、一般利用ができない。北館さざんかや南館ひまわりの浴室の活用方法について、現時点における町の考えは。

A 生活福祉部長
北館さざんかや南館ひまわりの浴室は、以前の利用者数や設備の年間維持管理費を踏まえて、廃止の方向で検討する。各施設の利用状況に応じ町民にとってより良い活用方法の調査研究を進める。

一月中を目途に回収し、年度末までに調査結果をまとめ、支援策の構築に活かしていきます。

A 生活福祉部長
小学4年生から高校3年生までの約1600人対象に、子どもの意見を聞くこと、ヤングケアラーであること当事者に知っていただくため、アンケート形式で実施する。本調査は、無記名で、年明けに対象世帯へ調査票を郵送する予定である。

Q 実態調査は、どのように進められているか。



Q. ヤングケアラーの支援は

A. 町挙げての支援策を講じる

Q 今後どのような支援を考えているのか。

A 生活福祉部長
調査結果に基づき、本町の実態に則した支援策を講じていく。

Q 関係部署との連携は。

A 生活福祉部長
町を挙げての支援策を講じていくためには、関係部署や関係機関との連携が不可欠で、子ども応援課が中心となって、支援体制の構築に努める。





さかた よしお
坂田芳郎 議員

SAKATA Yoshio

Q. 防災拠点周辺の 路面整備を要望

A. 県に働きかけをしている

強い要望を受け、お尋ねする。令和3年の事業開始より県と豊山町は、青山地区に整備される基幹的広域防災拠点について、住民説明会を繰り返して実施してきた。事業内容・施設整備規模に異を唱える声はなく、青山地区として、ご理解がなされたと解される。

その後は徐行で交差点を左折する方向で目的方面へ離脱する」という方式である。

式に「県に善処を申し入れすべきである。その責務がある。行政の最高責任者として、いかなる見解か。 伺う。

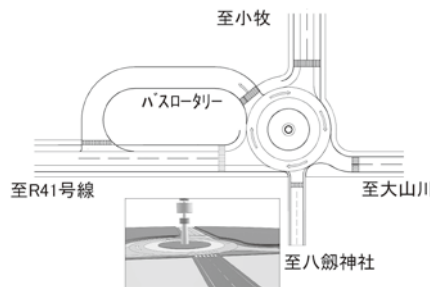
業者へ乗り入れていただけるよう、働きかけをする事が優先であると考えております。

然し乍ら、施設周辺の交差点を含む公道整備方法論になると話は一変する。現在の計画にあつては、青山八剱神社の北交差点(通称点滅信号)は北行・小牧方面/西行・41号方面への出入りが、地域住民には非常に不便な形状で計画されている。 日々生活道路への侵入車両を制限する為、地域住民の行動も日々著しく阻害され永代我慢を強いられる。 と。 先般、青山地区要職者・有志方々で結成された「上青山地区防災拠点連絡協議会」より、ラウンドアバウト交差点の設置を求め、要望書が関係各所に提出された。 この交差点手法は「交差点侵入まぎに停止し、

また、現計画案においては、交通弱者に対する安全対策の諸問題を含んでおり平面街路整備の抜本的見直しを本町及び県にお願いしたい。との事。もとより、平面街路は本町と施設整備の両輪であるので、本町のみの意向を前面に打ち出すのは困難な部分がある。が、地元負担が「大」である以上、本町としても言うべきは述べ、お願いすべきは相応申し入れをなすべきである。 伺う。

協議会からの提案にあるように、ラウンドアバウト敷設に関連して現在運行している豊山タウンバスの他に、近隣自治体のコミュニティバスや名鉄などの路線バスの、乗り継ぎ施設を検討/併設してみてはどうか。 お考えを伺う。

坂田は平面街路整備は永代の整備であると捉えている。住民本位の立場で、緊張感を持って、施設整備の進捗状況を見極めつつ、今後も注視・見守りたい。



方々の主張は、施設周辺の公道整備に問題があると言っておられる。地域・地元の皆様が「こうした線形にして欲しい」と具体的な対案を持ってまで要望しておられるのに、「検討する/受け入れ難い/ダメだ」と言う合理的な根拠はなにか。 本来、住民の難渋に対しては町長自らが先頭に立ち、豊山町として「正

産業建設部長
町としてラウンドアバウト交差点に反対している事実はいけません。地域有志の団体から要望書を受取りました。地元の声を受け止め、計画を再度検討するよう、県に対して働きかけをしております。

産業建設部長
町としてラウンドアバウト交差点に反対している事実はいけません。地域有志の団体から要望書を受取りました。地元の声を受け止め、計画を再度検討するよう、県に対して働きかけをしております。

本人の申し出により、編集せず原文のまま掲載しています。

Q. 1メートル借地の経過は



おおぐち しろう
大口司郎 議員

OGUCHI Shiro

A. 議員指摘のとおりである

Q 1メートル借地について令和4年第1回定例会で、産業建設部長が説明された「丁寧な経過を説明し、町へ寄附をお願いしている」という件に関して、実際にどういった事を説明しているのか。有効活用とは、用地の提供者である営農者の意を汲んでこそ、と考えるがいかがか。

A 産業建設部長

町が、土地所有者と締結している土地使用借契約では所有者が当該土地を譲渡するときは、この契約を譲渡人に承継させることとなっている。所有者に変更がある場合には、経緯を説明し、道路用地として町へご寄附をお願いしている。

Q 防災拠点区域内で、現在町道に認定されている道路は、もともと土地改良地元営農者の農地を道路として整理されたものである。これらの面積はどれくらいになるのか。

また、国や県からの補助金

で築造された導水路などの構造物はどのような手続きで移管するのか。移管に際しては有償であるのか。

A 産業建設部長

周辺道路を除く、県事業として実施される防災拠点の計画区域内に存在する道路の面積は、約1ヘクタールである。公園用地や消防学校用地として提供する部分は、有償にて愛知県に譲渡する。県道部分は、町の所有地のまま県道として県が管理する。

構造物のうち、国・県からの補助金を受け整備したものは、必要に応じて必要な手続きを経て愛知県に譲渡する。

Q 愛知県の計画する道路のうち、八剣神社北交差点

では県道が優先路となっており、交通量によっては事故のリスクが高くなると考える。現在、地域住民は八剣神社北交差点を北上し、小牧市小針方面に通り返している。今までの馴染んだ生活を重視す

る考えはないのか。

A 産業建設部長

八剣神社北側交差点について、地域住民の方からは、日常生活において小牧方面へ北上する際に、現在の計画では安全に通行できないとの意見もいただいている。

道路を利用される地域住民の方の利便性を確保することは重要であると考え、県に対し働きかけをしている。

Q 通過車両による騒音増大、排気ガスなどによる

生活環境の悪化について、国道41号からの流入量や防災拠点に出入りする大型車両などの交通量を示し説明して欲しい。

A 産業建設部長

県によると、新たに県道として整備する道路の交通量は、1日あたり町道1号線は2600台、町道52号線は2300台であり、このうち、大型車両は、両路線とも3割程度と予測されている。

Q 町長は日頃から「住んでいて良かった」「これからも住み続けたい」「一人も取り残すことがない」「町づくりを目指すと発言されている。住民の声である要望書についてどのように考えているのか。

A 町長

防災拠点事業の推進については、これまで計画どおり進めることができている。

本事業への町民の皆さまの関心が高く、本当に様々なご意見をいただいている。

今後また交差点計画に限らず、引き続き町民の皆さまの貴重なご意見、ご要望をお聞きし、ご理解をいただきながら事業を進めてまいります。



つばい たかひと
坪井孝仁 議員

TSUBOI Takahito

Q. 地域コミュニティの再構築は

A. 一人ひとりが地域の主役

Q 新型コロナウイルス感染症の影響によって隣近所の関係が希薄化していく中で、自治会など地域コミュニティのあり方が問われている。自治会など、地域コミュニティの再構築は町にとって大きな課題だと考える。町は、自治会や地域コミュニティについてどのように考え、どう対応していくのか。

A 町長
災害時の助け合いや環境保全、子どもや高齢者の見守りなど、様々な分野で、地域の課題が多様化している。これらの課題や問題の解決には、行政だけでなく、町民の皆さまやボランティア、各種団体などが一体となって、自主的に問題解決できる環境づくりが必要であると認識している。

地域コミュニティの中でも、とりわけ自治会は、その中心を担っていただく最も大切な存在であると考えている。この自治会の活動を充実させていくために役場職員による地

区担当制により、地域と役割との顔の見える関係づくりに取り組み始めたところである。

また、自治会役員だけではなく、民生委員や自主防災組織などの様々な分野の団体やボランティアの方々が、地区の活動として、自治会の抱える課題解決に向けて、協力し合うことのできる環境づくりを取り組んでいきたい。

いすれしても、地域コミュニティの再構築は、町の最重要課題と考えている。一人ひとりがまちづくり、地域の主役となる、まちの実現に向け、しっかりと取り組んでいく。



Q. 町道の無償借地の取扱いは

A. 県の機能補償として協議

Q 令和4年10月27日に議員有志で県に対して「町道52号線と町道117号線の交差点をラウンドアバウト交差点としての整備を検討すること」を要望した。また、同日に町に対しても「ラウンドアバウト交差点に関する内容」「公共交通ネットワークの充実」「拡幅する道路用地について県および町で同等の取扱いをすること」についてなど、9点の要望書を提出した。

A 産業建設部長
防災拠点事業の今後の進め方、関連する懸案の対応方針など、現在の進捗状況を聞く。

県の事業エリアは、用地取得の個別の交渉に着手し、県からは順次契約を締結していくと伺っている。

八剱神社北側交差点は、県が関係機関との再協議を含ま

め、交差点計画の再検討を行っている。

町の事業エリアは、交差点計画が固まり次第、都市計画決定の説明会などを開催し、令和5年度に事業計画を決定していく。その後、事業認可を取得し、用地取得を進めていく。

町道用地の取扱いは、県の防災拠点事業で廃止する水路の付け替え用地として、県による機能補償という位置付けで、無償借地部分の土地を取得することができないか協議を進めている。

土地造成や調整池は、県が設計を進めており、令和5年1月には説明会を開催する予定と聞いている。

今後、県としっかり連携を図りながら、事業を進めていく。

二十歳の誓い

村瀬 萌

私は今、保育について学んでいます。子どもたちは無邪気で可愛く、私たちに元気を与えてくれます。そんな子ども達がたくさんいることを学び、健やかに成長できるように支えられる保育士になりたいと、日々勉強に励んでいます。保育の世界は奥深く、学べば学ぶほど新しい発見がありとても興味深いです。子どもたちの発達段階などを座学で学び、成長に合わせた援助を、実習を通して学ぶことで深い学びに繋がっています。



中学の時、保育士になりたいと思い今通っている大学を目指して高校選びをし、夢叶い大学生活を過ごしています。これからも大学でしっかりと知識を身につけ、将来は大好きな地元豊山町で保育士になれるよう、日々努力していきたいと思っています。

今井 陽大

幼い頃の私は命を救うヒーローに憧れていました。そして現在、私は救急医療について学び、自身の夢への第一歩を踏み出しました。



同じ志を持つ友人と共に切磋琢磨し勉学に励んでいます。まだまだ未熟ではありますが臨床実習で得た経験・知識を糧にいかなる環境においても現場で活躍できる人材を目指し、どのような困難が立ちかはかろうと父のような聡明さ、母のようなパワフルさを持って乗り越えていきたいと思っています。

『飽く無き探究心が命を救う』この言葉を胸に夢へと歩み続けて参ります。



編集後記

豊山町町制施行50周年、お祝いの年もあとわずかです。記念行事などを通じて、多くの町民が豊山町を好きになり、魅力を再発見し、シビックプライド（郷土愛）を高めることができたいと思います。

今後は、県の基幹的広域防災拠点、町の避難所・賑わい施設など、大規模事業が待ち受けています。

皆さんに豊山町を愛し続けてもらえるために、議員も頑張らなければなりません。町民の要求を町政に反映させるため、前向きに提案し、ときには厳しく町をチェックしていく必要があります。

議会も議会広報も変わり、レベルアップしていきます。

山本亮介

表紙のコメント

1月4日、愛知県内で一番早い「二十歳の集い」が行われました。再会を喜び合い、記念撮影をしました。

皆さん、おめでとーございます。

広報編集委員

- 委員長 山本 亮介
- 副委員長 作野 桂子
- 委員 岩村みゆき
柴田賢一
岡島 剛

寄付行為の禁止

議員はお祭りへの寄付や町内会への催しものへ差し入れすることを禁止されています。有権者も求めてはいけません。ご理解をお願いします。

次回定例会の予定

- 3月 6日(月) 開会・議案説明
- 13日(月) 一般質問
- 14日(火) 議案質疑
- 15日(水) 福祉建設委員会
総務文教委員会
予算特別委員会
- 16日(木) //
- 17日(金) //
- 23日(木) 討論・採決・閉会

開始時間は午前9時30分(最終日は午後1時30分)です。議事の都合により、日程が変更になる場合があります。